

困っているのは、女だから？ 男だから？

「男は仕事、女は家事・育児」に同意する割合45.4% (尼崎市)

出典：尼崎市市民意識調査(平成28年)

結婚・出産しても
あたりまえのように
仕事を続けたい。^{※1}

長時間労働が当たり前で、男性社員が家事や育児に参加し手助けするなど考えられません^{※1}

職場(賃金・昇進)において
男性が優遇されていると
感じている割合84.0%
(尼崎市)

出典：尼崎市市民意識調査(平成28年)

管理職に占める
女性の割合7.1%(尼崎市)

全国平均13.4%

出典：総務省「職業構造基本調査(平成24年)」

世界のなかで日本はジェンダー・ギャップ指数の順位が
とても低いことを知っていますか？(144か国中、日本は111位)

出典：世界経済フォーラム2016

ジェンダー・ギャップ指数：経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから各国における男女格差を測る指数

子育て期の30代、40代男性の
約6人に1人が週60時間以上
働いている。

男性平均12.5%(30代15.6%、40代16.1%)、
女性平均2.7%

出典：総務省「労働力調査(基本集計)」(平成27年)

共働き世帯の
育児・家事関連時間^{※2}は
妻：4時間53分 夫：39分(週全体)

出典：総務省統計局「社会生活基本調査」(平成23年)

※1 平成28年尼崎市市民意識調査自由記入より抜粋

※2 食事などの生理的に必要な活動をのぞく

誰もが生きやすい社会をめざして

「男性の役割は仕事・女性の役割は家事・育児」など「性別による役割」にとらわれて、不自由な思いをするのではなく、誰にとっても「幸せな社会」、「生きやすい社会」を目指すことが男女共同参画の考え方です。

介護しながら
仕事も続けられる。



目指せ管理職！
子どもも欲しい。



自治会の会長に立候補
してみようかな。



仕事も大事だし、
子どもとの
時間も大事。

